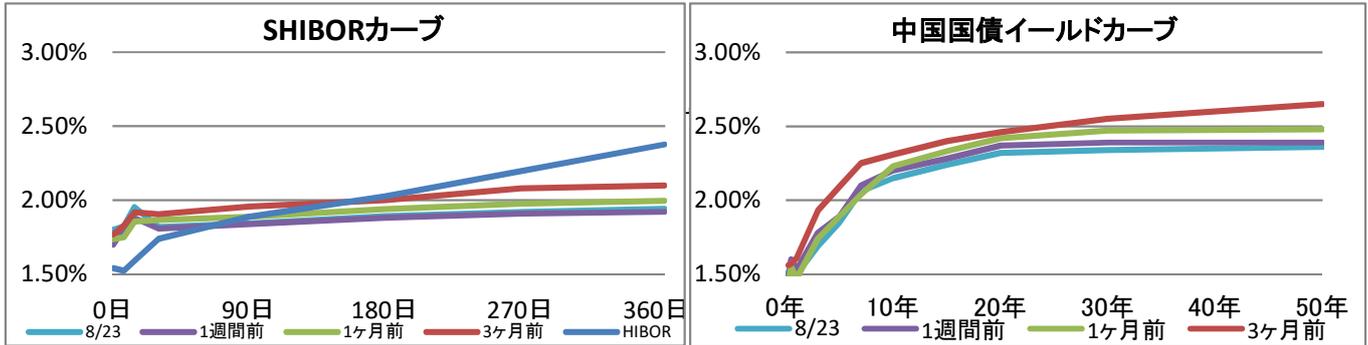


基準レート		2024/8/23	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	7.1358	-0.0106
	JPY/CNY	4.8864	+0.0919
SHIBOR	3M	1.8440%	+0.0060%
国債利回り	10年	2.15%	-0.05%
上海総合指数		2,854.37	-25.06



## (1) 概況

国際金融市場では、米国の雇用統計年次改定での下方修正に加え、ジャクソンホール会議でのパウエルFRB議長発言等によりFRBの利下げ姿勢が確認されたことから、債券市場、株式市場ともに上昇し、外為市場ではドル安が続く展開となった。米雇用統計年次改定では、2024年3月までの1年間の雇用者数を81.8万人下方修正し、パウエルFRB議長はジャクソンホール会議で、金融政策の方向性は明確で、調整すべき時期が来た、と発言している。

中国金融市場では、金融当局が債券市場に対する警戒感から監督を強化する中、国際的に取引可能で、デリバティブ市場の影響を受ける国債には資金流入が続いて利回りが低下する一方、信用債市場では積極的な買いが出難い状況が続いて利回りが上昇しており、中国人民銀行による7月利下げの効果は、これまでのところ限定的となっている。株式市場は、景気先行き懸念やMSCI全世界株価指数の中国銘柄数削減、証券取引所の本土外資金動向の日時データ公表停止の影響等から国外投資家の慎重姿勢が強まり上値重く、外為市場では世界的なドル安から元が対ドルで7.13台まで上昇している。

中国では、習主席が、鄧小平生誕記念行事で、同氏が始めた中国の特色ある社会主義事業の推進継続や自身が掲げる中国式現代化の推進等の必要性を主張し、英国スターマー新首相との電話会談で、両国の相互信頼の増進や、金融、グリーン、AI等の分野での協力拡大等への期待を表明し、李強総理は、北京開催の世界ロボット博覧会で、ロボット技術の革新と産業発展を積極的に推進する必要性等を強調。国務院は、「市場参入制度の改善に関する意見を公布」し、航空宇宙、バイオ、新工ネ、AI等の新規分野への市場参入環境を改善する方針を示し、国家発展改革委員会は、エネルギー重点分野の大規模設備更新実施計画で、2027年のエネルギー施設更新への投資を2023年対比25%以上増やす方針等を示し、民営企業との座談会では、意思疎通強化や海外進出支援強化等の方針を示した。国家金融監督管理総局は、金融機関のコンプライアンス経営力向上のため「金融機関のコンプライアンス管理法」のパブコメを公表し、中国人民銀行は、最優遇貸出金利(LPR)の据え置きを決定し、米財務省と金融ストレスイベント発生時の円滑な連絡体制維持等を目的に交換文書に署名し、ベトナム国家銀行と現地通貨決済・通貨スワップ、クロスボーダー決済接続分野等での協力に関する覚書に調印。証監会は、上場企業の会計処理や情報開示等に関する問題点を例示しつつ改善を促し、機関投資家との座談会では、長期・専門的な観点からの投資等による模範的な機能の発揮や、資本市場の安定成長促進への期待を表明。

## (2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日15,449億元に対して、リバースオペ11,978億元を実施し、3,471億元を吸収。

## (3) 主な経済指標

・特になし。

## ② 資金市場

### (1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.8010%	1.8500%	1.8200%	
1W	1.8250%	1.9500%	1.8500%	1.7300%
2W	1.9540%	1.9700%	1.9500%	1.7500%
1M	1.8190%	1.8200%	1.9300%	1.8500%
3M	1.8440%	2.2000%	1.9400%	1.8600%
6M	1.8920%			1.9500%
9M	1.9200%			1.9600%
12M	1.9420%	2.1300%		1.9700%

世界的な金利低下と厳しい国内景気見通しにもかかわらず、中国人民銀行は大幅な資金吸収に転じ、LPRを据え置いて7月の利下げ効果を確認する姿勢を示していることから、短期資金市場では金利水準の上昇が続いている。夏季休暇の影響も考えられるものの、ターム物の出合いは極めて限定的な状況が続いている。

NCD市場では、金融当局による債券市場への監視強化の影響や中国人民銀行の資金吸収等から、金利水準の上昇が続いており、7月利下げ前の水準に戻している。ターム物の金利水準は、1カ月から3カ月までが1.8%台半ば、6カ月は1.9%台半ば、1年は1.9%台後半に上昇している。

### (2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	5.38%	5.40%
1W	5.45%	5.50%
1M	5.55%	5.60%
3M	5.50%	5.55%
6M	5.45%	5.55%
12M	5.40%	5.50%

中国国内市場でも、FRBの金融緩和期待が一段と高まっており、出合いが限定的なまま、1カ月以降の金利水準が一段と低下する展開となり、複数回利下げを織り込む格好で、逆イールドとなっている。本土市場のターム物の金利水準は、3カ月までが5.5%台、それ以降はビッドが見えず5.4%前後に低下している。

### ③ 人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.51%		1.82%	1.94%	2.10%
6M	1.56%		1.93%	1.99%	2.12%
1Y	1.50%	1.60%	1.98%	2.01%	2.15%
3Y	1.69%	1.84%	2.07%	2.11%	2.26%
5Y	1.85%	2.00%	2.12%	2.22%	2.35%
10Y	2.15%	2.26%	2.37%	2.43%	2.60%

米国債券市場は、雇用統計の年次改定で雇用者数が大幅に下方修正され、FOMC議事要旨からは雇用への懸念の強さを、ジャクソンホール会議でのパウエル議長の、金融政策の方向性は明らかかつ調整すべき時期に来ている、との発言からは、9月の利下げは確実で低下幅は今後の状況次第であることを確認し、債券利回りは一段と低下。中国債券市場でも、当局の厳しい監督姿勢への警戒感はあるものの、世界的な金利低下や中国経済の先行き懸念から、国債利回りは低下に転じている。この結果、10年米国国債利回りは3.80%（前週末比-8bp）に一段と、10年中国国債利回りは2.15%（同-5bp）に低下したことから、利回り差は165bp（同-3bp）へと小幅な縮小が続いている。

中国債券のイールドカーブは、当局の監督強化への警戒感が強く、信用債は続落（利回り上昇）する一方、利率債は国外投資家や先物取引等の動向から買戻しが入り、利回りは全期間に亘り低下に転じている。クレジットスプレッドは、利率債が買われ、信用債が売られる展開から、全期間に亘り大幅に拡大している。

### ④ 先物為替市場

	USD / CNY
1M	-236.1 / -234.5
3M	-693.0 / -690.0
6M	-1,315.0 / -1,313.0
9M	-1,823.0 / -1,818.0
12M	-2,250.0 / -2,245.0

対ドル基準レートは7.1358と前週末比-106pipsのドル安元高、対円基準レートは4.8864と+919pipsの円高元安と、ほぼ市場実勢水準での設定となっている。中国国内市場では、FRBの金融緩和期待によるドル安から上値は重いものの、ドルニーズの強さを映じて下値も堅く、7.13台を底に下げ渋る狭いレンジ内での取引が続いている。

先物は、米国での9月の金融緩和期待と中国での金利上昇による金利差縮小から、ターム物は全期間に亘りマイナス幅が縮小し、1年物は前週の-2400前後から-2200台半ばまで一段と縮小している。

### ⑤ 金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.86%		1.65%
6M	1.84%	1.93%	1.66%
9M	1.80%	1.89%	1.63%
1Y	1.77%	1.87%	1.61%
3Y	1.76%	1.84%	1.74%
5Y	1.83%	1.91%	
7Y	1.90%	1.98%	
10Y	1.98%	2.06%	

金利スワップ市場では、債券市場で利率債利回りのみが低下し、短期の基準金利は上昇している状況から、スワップ金利は小幅ながら上昇しており、スワップスプレッドは利率債利回りの低下を映じて拡大に転じている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。